

3年連続 全国大会出場へ



11月15日（水）～18日（土）の4日間、「第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会 北海道代表決定戦（春の高校バレー北海道大会）」が北海道立総合体育センター（札幌市）で行われました。準決勝では旭川志峯高校に2対0で勝ち、3年連続32回目の全国大会出場を決めました。決勝戦では札幌山の手高校を2対1で下し、

女子バレーボール部 2年連続21回目 春高全道優勝



北海道立正学園
旭川実業高等学校
広報部
TEL(0166)51-1246
旭川実業高校HP



男子サッカー部 全道準優勝



11月12日（日）、札幌ドームにて「第102回全国高校サッカー選手権大会」に出場し、2回戦で札幌山の手高校と対戦したが、0対0で引き分け、3回戦で札幌山の手高校と対戦し、0対1で敗れた。

【試合結果】
2回戦 2 対 0 静内

主将 笠井季璃さん（普3・別海中）「二年連続春高全道制覇でき、とても嬉しい気持ちです。今年は追いかける側ではなく、追われる側としての全道大会で、初戦から緊張感の走った試合が続きませんでした。途中、自分たちの本領発揮ができず苦しむ場面もありましたが、旭川実業のチームでもある全員バレーで一つずつ乗り越えることができました。全国での目標は日本一です。全国制覇するために努力し続けるので、皆さんの応援よろしくお願いします。」

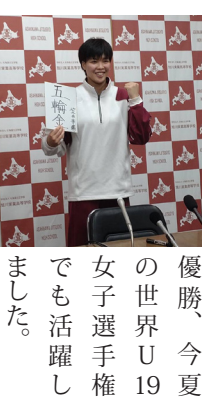
権大会北海
道予選」の決勝戦が行われ、男子サッカー部は、北海道立正学園と対戦しました。前半6分に1点を先取されましたが、同32分にFW和嶋陽佳さん（普3・樽川中）が同点ゴールを決め



【試合結果】
3回戦 3 対 0 帯広北
準決勝 3 対 0 札幌大谷
決勝 2 対 3 北海

ました。再び勝ち越されて迎えた終了間際の後半38分にはDF鈴木奏翔さん（普3・小泉中）が土壇場で同点弾を決め、同点に追いつき延長戦に入りました。延長後半に1点を決められ、2対3で敗れて準優勝となりました。

主将の笠井さんは女子バレーボールVリーグ所属の「トヨタ車体クインシーズ」への入団が内



定し、12月7日（木）には本校で記者会見を実施しました。笠井さんは2年次にアジアU18女子選手権に日本代表主将として出場しています。

高校生が好きな本について紹介し、書評を競い合う「第10回全国高等学校ビブリオバトル2023北海道大会」が11月5日（日）、北海学園大学 豊平キャンパス7号館で行われました。本校から出場した藤倫太郎さん（普2・附属旭川中）さんは「惑いの森」（著：中村文則・文芸春秋）を紹介し、見事優勝を果たしました。



ビブリオバトル全道大会 藤倫太郎さん 優勝

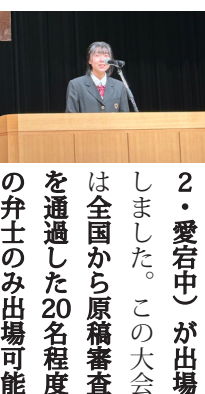
全国大会は来年1月28日（日）に東京国際大学 池袋キャンパスで行われます。藤さんは「全国では、本を読むきっかけは何でもいいことと、読書の面白さを伝えたいです。」と語りました。

12月6日（水）に吹奏楽部の第5回定期演奏会が旭川市民文化会館大ホールにて行われました。当初、11月18日（土）に実施予定でしたが、インフルエンザ等の感染症により順延されました。平日開催になりましたが、多くの方にご来場いただきました。三部構成で、二部ではミュージカルに挑戦しました。3年生最後の演奏会となる定期演奏会にける意気込みが感じられる演奏になりました。

吹奏楽部 第5回定期演奏会

得能夕月さん「全国のレベルの高い弁論を聞くことができ、自分に足りないものが実感できた実り多い大会でした。来年の全国大会に向け、しっかりと準備したいと思います。」

非常なハイレベルな大会で「弁論の甲子園」とも言われています。得能さんは旭山サークルの活動について熱弁を奮うも、残念ながら入賞することはできませんでした。



2・愛宕中）が会場しました。この大会は全国から原稿審査を通過した20名程度の弁士のみ出場可能

福沢諭吉全国弁論大会 得能夕月さん出場

12月8日（金）福沢諭吉が19歳まで過ごした大分県中津市にて「福澤諭吉記念第62回高等学校弁論大会」が開催され、得能夕月さん（普